



地域の医療・保健・介護・福祉の方とともに、皆様の健康をお守りします

Face to Face,

Heart to Heart

富山市今泉北部町2-1 / Tel: 076 (422) 1112代 http://www.tch.toyama.toyama.jp / 発行日 2020年1月



川崎病あれこれ

小児科 橋本 郁夫



川崎病は川崎富作氏により1967年に報告され、1970年に全国調査が始まって以来、その報告数は急速に増加している。2015年には1万6千人を超えるまでになった。しかし、川崎病の原因は依然不明な部分が多く病因に関して毎年様々な研究報告がなされている。臨床症状が溶連菌感染やEBウイルス感染などに似ていたことより、これまで感染症やダニなどのアレルギー、環境因子など様々な仮説が立てられてきたが原因を絞り込むまでには至らなかった。しかし、近年、川崎病の発症に自然免疫の関与が疑われるようになり、これまで言われてきた様々な要因が免疫の異常を惹起し、それが全身の血管組織の炎症を引き起こすのではないかと現在考えられている。このことは、近年喘息や食物アレルギー患者などの増加にみられる子供の免疫力の低下とあながち無関係とは言い切れないかもしれない。

川崎病といえば冠動脈瘤にみられる心合併の有無が重要であるが、1980年台に古庄らによって行われた大量グロブリン療法以降、劇的に減少した。しかし、当時のグロブリン投与方法は体

重当たり200ないし400mgを5日間に渡って投与するものであった。その後1991年にNewburgerらによって2000mg/kg1回投与方法が提唱され、従来法と同等あるいはそれ以上の冠動脈瘤発症予防効果があることが確認された。これは川崎病の冠動脈瘤形成が発症10日目以降に多く発症していることから劇的なインパクトを与え現在の急性期治療ガイドラインの根幹を成している。

昨今の分子生物学的、遺伝学的研究の進歩により遠くない将来に川崎病の全貌も解明されるのではないと思われる。迅速診断キットも数年以内に実用化されるという夢のような話すらある。川崎病が原因不明であるという肩書も数年以内には外されるであろう。

第7回 地域連携医療機関対象 エコーハンズオンセミナー（腹部編）

【日 時】 令和2年3月15日（日） 14：00～16：30（途中入退室可）
【場 所】 富山市民病院 301会議室（3階旧集団指導室）
【内 容】



①ミニレクチャー（14：05～14：25）

「びまん性肝疾患のはなし」

超音波検査においてしばしば遭遇するびまん性肝疾患。エコーでの評価ポイントやシアウエーブエラストグラフィを含めた肝線維化の評価法についてもお話します。

②腹部エコーハンズオン（14：40～）

※ハンズオンは原則医師のみを対象とします。

※ハンズオンは希望制です。希望される方は事前にお知らせください。（ハンズオンの見学は自由です）

※当日要望がありましたら、腹部エコー以外のハンズオンも可能です。

参加をご希望の方、ハンズオンをご希望の方は、ふれあい地域医療センターまでご連絡ください。

ふれあい地域医療センター TEL 076-422-1112（代表）内線 2989 / FAX 076-422-1154（直通）

主催：富山市民病院 臨床検査科

ふれあい地域医療センターからのお知らせ

紹介状お持ちの方専用

CT 検査予約が、以前よりもとりやすくなりました

お電話で [時間予約なし(Cプラン)] で、とお伝えください!

[時間予約なし (Cプラン)] は、連絡当日でも CT 検査を受けることのできるプランです。

下記の時間内に来院していただき、検査室が空き次第検査となります。

事前の電話連絡と申込みのうえ、ぜひご利用ください。

プラン		予約時間 来院時間	結果
A	予約（日 中）	9：40 / 14：00	当日本人渡し
B	予約（時間外）	17：20 / 17：40 / 18：00	後日お届け
C	時間予約なし	AM 9：00～11：00 に来院	当日本人渡し
		PM 13：30～16：00 に来院 (造影ありの場合は、15：30 まで)	

※お問い合わせは、ふれあい地域医療センターまでお寄せください。

TEL 076-422-1114（予約専用） / FAX 076-422-1154（直通）

令和元年度 地域医療部担当者交流会・講演会を開催しました！

令和元年12月13日（金）に地域医療部担当者交流会・講演会を開催しました。

担当者交流会では、地域の医療機関、介護保険施設、地域包括支援センター、訪問看護ステーションなどから29名、院内からは45名の多職種（医師、看護師、相談員、薬剤師、栄養士、理学療法士、介護支援専門員、訪問看護師、社会福祉士、精神保健福祉士）の参加がありました。

まず初めに、富山まちなか病院の社会福祉士 平井さんより「富山まちなか病院の位置付け」と題した発表があり、次に退院困難事例に対して病院側と在宅側が協力し退院調整を考えるグループワークを行いました。活発な意見や議論が繰り広げられ、病院と地域が更に協働し患者さんを支援する必要性を学びました。

講演会では、社会医療法人財団慈泉会 相澤東病院 看護部長 武井純子先生に「在宅医療への安心をつなぐ 急性期医療から在宅医療に橋渡し 一安心して暮らせる地域づくり」と題したご講演をいただきました。院内外から 108名の参加があり、地域包括ケアシステムの中でのそれぞれの役割について考えさせられる場となりました。



1. 地域連携症例検討会

日時：2月18日(火) 19:00~20:15 場所：当院3階 講堂

1) 症例検討

①『中枢神経性複視と鑑別を要した甲状腺眼症の1例』

脳神経内科 南川 靖太

②『早期治療で視機能が回復した網膜中心動脈閉塞症の1例』

眼科 山田 芳博

2) ミニレクチャー：「せん妄の実践的な対処法」

精神科 長谷川 雄介

せん妄とは意識障害に幻覚、興奮などが出現する状態である。意識障害という事を理解することがせん妄の治療の第一歩である。高齢で脳が脆弱になっている患者の場合、環境が変化したり、身体的病気にかけたりするとせん妄をきたすが、まず第一に原因疾患を適切に治療することが必要である。また、高齢者の場合、様々な薬物を服用している場合があり、それらが意識障害を引き起こすこともよくある。睡眠薬、抗不安薬、抗うつ薬などはもちろんのこと、抗パーキンソ

ン薬、抗ヒスタミン薬、ステロイド、ジギタリス、テオフィリンなど日常よく使う薬剤もせん妄を引き起こすので、可能な限り整理したい。また、薬物療法は使わないに越したことはないが、どうしても興奮が激しい時は、せん妄が起こってからではなかなか薬が効かないので、せん妄が起こる前に睡眠覚醒リズムを整えるような薬物を使いたいが、薬価が問題となることもある。日中の離床や適切な除痛、可能な限りの拘束解除などもせん妄を改善させる。

予告

日時：3月10日(火) 19:00~20:15 場所：当院3階 講堂

内容：①症例検討 2例 (担当) 呼吸器内科、耳鼻いんこう科・頭頸部外科

②ミニレクチャー (担当) 呼吸器・血管外科



2. 内科CPC

日時：2月18日(火) 17:30~

場所：医局カンファレンス室

3. 緩和医療部会学習会

日時：2月4日(火) 17:45~19:15

場所：地域医療研修センター

内容：テレビ会議システムを利用したライフステージ事例検討会

4. 医療機器研修会

※①②とも内容は同じです

日時：①2月5日(水) 12:15~12:45

②2月6日(木) 17:45~18:15

場所：①301会議室(旧集団指導室)

②看護外来

○テーマ：実際にあった生体情報モニタのトラブル事例について

○講師：臨床工学技士 熊代 佳景

5. 糖尿病研究会定例学習会

日時：2月20日(木) 17:45~18:30

場所：看護外来

○テーマ：こんなにあったんだ！ 糖尿病薬

○講師：薬剤師 藤塚 美咲

6. 褥瘡対策学習会

日時：2月28日(金) 17:30~18:15

場所：集団指導室

○テーマ：①創傷の予防と治癒のための栄養管理

②褥瘡ケアのために知っておくべき外用薬のポイント

○講師：①管理栄養士 平井 美佐子

②薬剤師 橋本 尚人

7. NST学習会

日時：2月17日(月) 17:30~19:00

場所：集団指導室

○テーマ：①肝疾患の栄養管理

(LES・BCAA・尿素サイクル)

②腎疾患の栄養管理

○講師：①内科医師 上山本 伸治

②透析看護認定看護師 松木 理浩

8. 看護研修

《衛星研修S-QUE Eナース》※要予約

○テーマ：症状別フィジカルアセスメントを極めるシリーズ~脳卒中

視聴期間：2月12日~3月6日

○テーマ：患者の声にならない訴えを見る

シリーズ~トータルアセスメント

視聴期間：2月25日~3月19日

《衛星研修S-QUE 特別企画》

テーマ：第41回 2020年診療報酬改定

視聴期間：2月4日~3月27日

※《衛星研修S-QUEシリーズ》は、予約申込みが必要です。視聴可能日は、月・木(祝日を除く)の14時~16時の間で予約制となっていますので視聴を希望される方は、ふれあい地域医療センターへご連絡ください。

(TEL 076-422-1112代表 内線 2989)



富山老人保健福祉圏地域リハビリテーション 研修会報告

昨年10月15日に今年度第2回目の地域リハビリテーション研修会を開催しました。

今回は「排尿の危険なサインを見逃さないために」をテーマに、当院の児玉泌尿器科医師が講演し、地域の看護師、介護職、ケアマネージャーなど53名の参加がありました。基礎的な解剖から、畜尿障害と排尿障害の違い、尿路管理の方法などについて、事例を交えた内容であり、講演後には活発な質疑応答が行われました。アンケートには「大変参考になった」「該当する利用者様を想像しながら聞くことができた」「今まで思っていた考えと反対だったことが分かった、勘違いしていた」との感想がありました。また、今



回のような具体的な疾患に関する内容を希望する声も多く聞かれ、今後の広域支援センター研修会の参考にしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

(文責 富山地域リハビリテーション広域センター)

医師不在のお知らせ

※外来担当日の休診のみ掲載

2月

科名	医師名	不在日	科名	医師名	不在日
内科	清川	20日、27日	外科・消化器外科・乳腺外科 呼吸器・血管外科	佐々木	7日、25日
	清水	7日、26日		瀬川	17日
	水野	7日、14日、21日		湖東	3日、25日
	並木	28日		土岐	18日
	野村俊	10日		武内	7日
整形外科・ 関節再建外科	澤口	14日、21日、28日	精神科	長谷川雄	12日、14日
	堀井	7日、21日	眼科	狩野	28日
	重本	10日、21日、28日	耳鼻いんこう科	阿河	4日
	岩井	13日	※その他、急に不在となることがありますので、ふれあい地域医療センターまでお問い合わせください。 TEL 076-422-1112 (代) 内線 2168		
	石田	28日			

編集後記

あけましておめでとうございます。今年は暖冬で雪がほとんどないお正月でしたね。大型連休もあって遠出された方も多いのではないのでしょうか。

さて、いよいよオリンピックイヤーの幕開けです。現地に赴く方、自宅でゆっくり観戦する方、それぞれの方法で楽しんでください。新競技も加わり今から夏が待ち遠しいですね。

看護部看護科 田中 理津子



作：病院ボランティア 篠崎 佳子

「れんけいと支援」に関するお問い合わせは、ふれあい地域医療センターまでご連絡ください。送付を希望されない方はお申し出ください。

TEL 076 (422) 1114 / FAX 076 (422) 1154
メールアドレス fureairenkei@tch.toyama.toyama.jp



ホームページ <http://www.tch.toyama.toyama.jp/> がん何でも相談室：メールアドレス shien@tch.toyama.toyama.jp